2004年度　中部日本高等学校演劇大会愛知県大会参加作品

滝高校演劇部

どんとこい!

作　瀧　源作

≪キャスト≫

高橋家

長谷川　俊　雄　　寺　田　ちひろ
玉　置　国　大　　竹　島　彰　規
徳　田　琴　美　　坂　井　史　織

おばあちゃん

川　﨑　　愛

野々垣家

道　家　佑　介　　蔭　山　　静

大竹家

小　田　梨紗子　　五　島　彰　人
鶴　見　知　広　　服　部　亜　衣

宅配屋

吉　永　廉　平

少年

谷　　友　博

≪スタッフ≫

演出　小　田　梨紗子
舞台監督　伊　庭　　聡

演出助手　堀　　雄　貴　　徳　田　琴　美
舞台監督助手　赤　尾　　聡　　小　島　隆　志

大道具　堤　　理　枝　　濱　田　祐　輝
小　澤　謹　裕　　澤　野　旭　弘
小　山　哲　郎　　佐　橋　成　章
後　藤　彰　宏　　鬼　頭　友　祐
山　本　純　也　　坂　井　史　織

小道具　寺　田　ちひろ　　長谷川　俊　雄
川　﨑　　愛　　道　家　佑　介
西　村　祐　貴　　蔭　山　　静
鶴　見　知　広　　谷　　友　博

照明　鈴　木　大　徳　　立　花　　圭
小　野　俊　祐　　近　常　敦　俊
松　山　裕加里　　丹　羽　祐里香
浅　井　佐和子

音響　立　木　琴　美　　岩　田　綾　香
井戸田　紘　佳　　社　本　　健
玉　置　国　大　　五　島　彰　人

衣裝・メイク　有　賀　三希子　　野　村　あきつ
酒　井　悠　里　　綱　島　正侑記
竹　島　彰　規　　服　部　亜　衣
吉　永　廉　平

一

合唱〔靴が鳴る〕

上手より俊雄入る。

俊雄　リップクリームが無い。母さん、どこやったんだよ。
琴美　また？ぼけたんじゃないの？
俊雄　いつものところに無いんだよ。
琴美　じゃあ、どこかに置き忘れたんじゃないの？
俊雄　それより、私のビューラー知らない？
琴美　そんなの俺が知るわけないだろ。
俊雄　いつものところに無いの。
琴美　お前こそ、ぼけたんじゃないの？
たけ　失礼ね。たけ！たけ！
俊雄　ズボンがない！
たけ　どうしたんだ？
琴美　僕のズボンがいつものところに無いんだ。
たけ　洗濯したんじゃないの？
琴美　お母さーん！僕のズボン洗った？
史織　たけお兄ちゃん。私のハーモニカ知らない？
たけ　そんなの知らないよ。
史織　もうすぐ学芸会なの。
たけ　ちゃんといつものところに置いとかないからだろ。
琴美　まったく誰に似たのかしらね。
俊雄　それは俺に対する嫌味か？
史織　嫌味よ。
俊雄　俺もそう思う。
琴美　それより、私のビューラーよ。
たけ　僕じゃないよ。
史織　ビューラーって何？
琴美　まつ毛パチパチするやつよ。
史織　お兄ちゃん、そんなん使ってたの？
たけ　たまにね。
琴美　やっぱり、あんた使ってたのね。
たけ　逆まつ毛なんだよ。
俊雄　俺も逆まつ毛だ。

琴美　お父さんも使ってたの？
俊雄　俺は自分の持ってる。
くに　あの…俺の。
全員　知らん！
くに　まだ、何も言ってないのに…。
史織　どうせ、またメガネでしょ。
くに　いや、今日は水着。
たけ　ビキニなら僕の部屋にあるよ。
くに　学校にビキニ着ていくわけにはいかないだろ。
史織　自信がないのね。
俊雄　かわいそう。
史織　なんなら私のブルマ借してあげようか？
くに　あ、それだ！

その後、ごちゃごちゃする。
琴美が「それより私のビューラーよ」とか言う。

ちひろ　やかましい！朝からうるさいのよ！

皆、ごちゃごちゃ言う。

ちひろ　一人ずつ言う！
たけ　僕のズボンがない！
ちひろ　冷蔵庫の中。
琴美　私のビューラー！
ちひろ　私のポーチ。
史織　ハーモニカ！
ちひろ　ここ。（手渡す）
くに　史織が脱いでくれない。
ちひろ　脱げ。
俊雄　俺のリップクリームは？
ちひろ　知らん。
全員　はい。

皆、各自のものを取りに行く。たけはいったん上手にはける。

史織　あったー。
くに　あったー。
琴美　あったー。
たけ　あったー。
俊雄　なーいー。
琴美　お母さん、何で使ってんの？
ちひろ　何か文句あるの？
琴美　だって。
ちひろ　えっ？
琴美　ごめんなさい。
史織　何でお母さん持ってるの？
ちひろ　吹きたかったの。
史織　何で？
ちひろ　はぁ？
史織　ごめんなさい。
たけ　何で冷やしてあるの？
ちひろ　生乾きだったから。
たけ　わぁー、しっとりー。
くに　何で史織が履いてんだよ。
史織　いいじゃない。
ちひろ　心の狭い男ね。
俊雄　ごめんなさい。
ちひろ　何であなたが誤るのよ！

ちひろが俊雄につめよる。ちひろについていく子供達。
ちひろは立ったり、座ったり。
下手で電話が鳴る。

俊雄　おい、電話！母さん、電話！おい、電話！
全員　うるさい！
俊雄　ごめんなさい。

俊雄　俊雄、愚痴を言いつつも電話をとる。
全員　もしもし、高橋ですけど。もしもし！もしもし！
おばあちゃん？　あぁ兄さん、久しぶりだね。元気？おばあちゃん？

二〇

琴美　絶対いや！
たけ　僕もいやだよ。
くに　だいたい何でおばあちゃんが来るんの。
俊雄　だから、それは…。
ちひろ　おじいちゃんが倒れたんだって。
史織　え？おじいちゃん？
俊雄　そう。
琴美　だからって何で来るのよ。
俊雄　のりこおばさんがおじいちゃんの面倒をみるから。
ちひろ　おばあちゃん一人になっちゃうでしょ。
史織　おじさんがいるじゃん。
ちひろ　おじさんは会社があるのよ。
たけ　おばあちゃん一人でいいじゃん。
俊雄　そういう訳にもいかないんだよ。
琴美　で、いつ来るの？
俊雄　多分、今日。
史織　今日のいつ？
俊雄　もうすぐ。
たけ　もうすぐ？
俊雄　そろそろ。

ピンポーン(呼び鈴が鳴る)

俊雄　来た…。
おばあちゃん　こんにちは。
高橋家　いらっしゃい。
ちひろ　おかあさん、いらっしゃい。
おばあちゃん　あら、ちひろさん。相変わらずお綺麗ね。
史織　これから、しばらくお世話になるよ。
おばあちゃん　おばあちゃん待ってたよ。
おばあちゃん　かわいいこと言うね。ほら、小遣い。
くに　(たけに)くに、変わらないねあんたは。少し太ったかな？
くには俺だって。

おばあちゃん　存在感薄いわね。じゃあ、この子は誰だい？
ちひろ　たけしですよ。
おばあちゃん　犬のポチそっくりで…。
たけ　そんなー。
おばあちゃん　ポチ。
たけ　ワン。
おばあちゃん　それにしても暑いわねぇ。まだ六月だってのに。
　これじゃ、あのじいさんが倒れてもしょうがないわ。
俊雄　おやじ、大丈夫なのか？
おばあちゃん　おや？のりこさんから聞いてないのかい？ただの過労だよ。
　まったく、働いてもいないのに過労だとはね。
　よっぽど私の方が過労だよ。
史織　(肩をもみながら)ホントだー。
おばあちゃん　史織は気が利くねぇ。たけやくにとは大違い。
史織　冷蔵庫におばあちゃんが好きなエスカルゴがあるよ。
たけ　エスカルゴって何？
くに　かたつむりだよ。
たけ　え？かたつむり食べるの？
廉平　おいしいですよ、かたつむり。
おばあちゃん　そうよね。ホントこの人、若いのに話がわかるのよ。
　あら…。ちひろさん、早くその荷物を受け取って。
ちひろ　すみません。
おばあちゃん　俊雄、ちゃんとチョップ渡しときなさいよ。
琴美　チップでしょ。
史織　え？私のポテチはあげないよ。
たけ　僕のもダメだよ。
ちひろ　ポテチじゃないわよ。

　俊雄もポテチを隠している。

琴美　ばかばっかり。
廉平　これで全部ですね。
おばあちゃん　あぁ、ありがとう。ほら、ボケッとしてないでチョップ。
琴美　チップだってば。
俊雄　(ちひろに向かって)お前、チョップ。
ちひろ　遠いのに静岡からお疲れさまでした。ほんの気持ちですけど。

ちひろ、チップを渡す

廉平　あ、どうも。では、これで失礼します。

廉平、はける。

ちひろ　お疲れさまでした。
俊雄　母さん、荷物多いなぁ。
くに　これ、どこに運べばいい？
ちひろ　たけの部屋。
たけ　え？何で？
ちひろ　おばあちゃんには、たけの部屋を使ってもらうのよ。
たけ　じゃあ、僕はどこで寝るの？
ちひろ　くにと寝ればいいでしょ。男同士なんだから。
くに　えー。そんなー。
ちひろ　(遮って)お母さん、一番日当たりのいい部屋を用意したんです。
おばあちゃん　あぁ、そう。じゃあ、早速案内してもらおうかしら。
ちひろ　どうぞ、二階へ。

おばあちゃん、ちひろ、たけの部屋に行く。

くに　俺、たけといっしょに寝るのやだよ。
たけ　おばあちゃん、どれくらいうちに泊まるの？
俊雄　二週間位？
くに　二週間？
俊雄　一週間？
琴美　はっきりしないわね。

おばあちゃん、ちひろ降りてくる。

おばあちゃん　あの部屋はダメだ。狭いし、臭いし、汚いし。
俊雄　どうしたんだ？
ちひろ　たけの部屋は気に入らないって。
琴美　ぜいたく。
史織　じゃ、おばあちゃん、どこに泊まるの？
おばあちゃん　二階の真ん中の部屋がいいね。和室だし、広そうだしね。

くに　でも、そこって、父さんたちの部屋じゃん。
おばあちゃん　あら、そうなのかい？でも、老人は和室じゃないとね。
琴美　都合のいい時だけ老人って。
おばあちゃん　何だい？琴美
琴美　何も。
おばあちゃん　な、いいだろ？俊雄。
俊雄　そこまで言うなら…。
ちひろ　(遮って)何言ってるんですか。
琴美　だいたい、お父さんたちどこで寝るのよ。
俊雄　たけの部屋？
たけ　え？結局、僕は兄ちゃんと寝るの？
くに　そんなぁ。
史織　じゃあ、私、荷物運ぶ。
ちひろ　ちょっと史織。
おばあちゃん　ありがとね、ちひろさん。遠慮なく使わせてもらうよ。
史織　おばあちゃん、これ重たい。
おばあちゃん　あー。それは土産だよ。
たけ　お土産？
おばあちゃん　たくさん持ってきたからね。えーっと、あぁ、これは史織。
史織　ありがとう。
おばあちゃん　これは琴美。私の使い古しだけど。
たけ　いいなぁ。僕のは？
おばあちゃん　たけはこれ。パンパース。昔よくおねしょしてたじゃないか。
史織　そうなの？
たけ　してないよ。
琴美　これで夜は安心ね。
たけ　してないってばー。
おばあちゃん　たけは俊雄にそっくり。
ちひろ　(俊雄に)してたんですか？おねしょ。
おばあちゃん　バリバリ。
俊雄　母さん！
史織　してたんだぁ。
俊雄　してないよ。
琴美　恥ずかしい。
俊雄　してないって。
ちひろ　してたのね。

俊雄　ごめんなさい。
たけ　ねぇ、これは？
おばあちゃん　それは、くに。
くに　ネギ！
おばあちゃん　くには頭が悪いだろ？
たけ　うん。
おばあちゃん　ネギを食べると、頭良くなるんだよ。
琴美　それだけ？
おばあちゃん　実はね、昔、くにがこーんなちっちゃかった頃に高い高いをしようと思ったら、私ガラにもなく力んじゃって。
ちひろ　(上を向いて)投げちゃったのよ。

全員上を向く。

史織　あ、天井へこんでる。
おばあちゃん　いやぁ、ホントあの時はビックリしたよ。
くに　そんな事あったの？
ちひろ　覚えてないのね。
史織　あれ、おばあちゃんどこ行くの？
おばあちゃん　トイレだよ。
ちひろ　場所分かります？
おばあちゃん　大丈夫、大丈夫。
史織　これ、お母さんにじゃない？
たけ　すっげぇ。
琴美　セクシー。
ちひろ　私、こんなの着ないわよ。
くに　何で、もったいない。
琴美　ほら、お父さんも頼んで。
俊雄　着て下さい。
ちひろ　(即答)イヤです。
史織　じゃあ、私がもらう。
たけ　お前、おっぱいないじゃん。
史織　いつ見たの？
琴美　なら、私が…
全員　似合わない。
琴美　何よそれ。

おばあちゃん、戻ってくる。

おばあちゃん　あー、すっきりした。あら、私の下着がどうかした？

全員　え？おばあちゃん？

三

舞台は洗濯場

静　おはようございます。

梨紗子　いいお天気。

静　洗濯日和ってやつですね。

梨紗子　ここのところ、雨ばっかりで洗濯物がいっぱい。

静　うちも。夫と私の分だけなのに。

梨紗子　これだから梅雨は嫌いなのよ。

静　ジメジメして、うちの旦那みたい。

梨紗子　あ、うちも。

静　困るよねぇ。

梨紗子　そう言えばとなりの高橋さん、

静　おじいちゃんが倒れちゃったんですってね。

梨紗子　それで、おばあちゃん押し付けられちゃったんでしょ。

静　そうそう、大変よね。

ちひろ入る。

ちひろ　おはようございます。

静　あ、おはようございます。

梨紗子　高橋さんちも洗濯物たまってますね。

ちひろ　子供たちに加えて、おばあちゃんのも増えちゃって。

梨紗子　でも、いきなりおばあちゃん来ちゃってたいへんでしょ。

ちひろ　そうなのよ、赤いブラジャーとか出てくるし・・・。

ほら、これ、ほんとに嫌になっちゃう。

梨紗子　うちもエロじじいがいるから気持ちはわかるよ。

ちひろ　黄色いパンツ。

静　大竹さんちのおじいちゃんホント元気だから。

高橋さんとこのおばあちゃんと、エアロビ行っみえてますしね。
梨紗子　まいっちゃうよね。
ちひろ　まいっちゃいます。

知蔵入る。

知蔵　梨紗子、梨紗子。
静　噂をすれば。
梨紗子　何か用？

知蔵辺りを見渡す。

梨紗子　上だよ、上。
知蔵　あぁ、そこにいたか。あ、静さんにちひろさんも。
静　おはようございます。
知蔵　グッドモーニング。今日もいいケツしてるね。
ちひろさんもベッピンで。
ちひろ　はぁ。
梨紗子　おじいちゃん！
知蔵　何じゃ。
梨紗子　何じゃいじゃないよ。用があったんじゃないの？
知蔵　あぁ、そうだそうだ。彰人君は？
梨紗子　まだ寝てる。
ちひろ　何か用事があったんですか？
知蔵　二人でエステに行こうと思ってな。
静　エステ？
知蔵　わしもまだ現役じゃから、ムダ毛は処理しときたいんじゃ。
ちひろ　はあ。
友蔵　ちひろさん、わしにほれるでないぞ。
知蔵以外　ありえない。
知蔵　強がり言っていられるのも、今のうちじゃ。
梨紗子　ま、ともかく彰人君が起きたら、来るように言ってくれ
はいはい。

知蔵はける。

静　彰人さんも脱毛するんですか？
梨紗子　無理矢理ね。
ちひろ　えっ、脇毛とか？
梨紗子　ツルンツルン。
静　すね毛も？
梨紗子　ツルンツルン。
ちひろ　胸毛も？
梨紗子　ツルンツルン。
静　それって許されるの？
梨紗子　まぁ、いいんじゃない。
ちひろ　やっぱり大変？
梨紗子　ん？何が？
ちひろ　お父さんとの同居。
梨紗子　まぁ、ボチボチかな。うちは私の親だから結構気楽だよ。
静　高橋さんのところは、だんなさんの方だっけ？
ちひろ　そうなのよ。やっぱり大竹さんのところみたくはいかないのよね。
静　気使うよね。
梨紗子　野々垣さん、昔、だんなのお母さんと住んでたよね。
ちひろ　どうでした？
静　最初のうちはうまくいってたんですけどね、
　　我慢ならなくなって逃げてきちゃいました。
ちひろ　そうですか。

おばあちゃん入る。

おばあちゃん　ちひろさん。
ちひろ　はい、あ、おはようございます。
おばあちゃん　おはよう。あれ、野々垣さんに、大竹さんじゃないか。
静　おはようございます。
おばあちゃん　皆して洗濯かい？ご苦労さま。
ちひろ　ちひろさんも、こんなばばあのパンツなんか洗いたくもなかろうにね。
おばあちゃん　そんなこと。
静　そういえば、野々垣さん、この間、旦那さんとデートしてたでしょ。
おばあちゃん　二人で温泉に行っただけです。
　　それをデートって言うんじゃないかい。いいねぇ、休日に温泉で
　　ゆっくり過ごすっていうのは。

ちひろ　うちには子供いますし。
梨紗子　史織ちゃん、まだ小学生だしね。
おばあちゃん　とか言いながら、大竹さんだってこの間おしゃれして出かけていったじゃないか。
梨紗子　あぁ、あれは仕事です。
ちひろ　大竹さんは共働きしてるんですよ。
梨紗子　あんな頼りない旦那と結婚しちゃったから。
ちひろ　でも、大竹さんの旦那さん、料理うまいじゃないですか。
この間、頂いたちらし寿司おいしかったですよね？
おばあちゃん　あれ旦那さんが作ったのかい？うちの俊雄も見習って欲しいね。
ほんと、何で私からあんな子が産まれちゃったのかしら。

佑介、下手側の洗濯場へ登る。

静　うちの旦那も見習って欲しいわ。あ、あなた。
佑介　おはよう。
静　おはようございます。
ちひろ　おはようございます。

佑介、静を無言で手伝い始める。

静　あれ？手伝ってくれるんですか？
佑介　（うなずく）
梨紗子　いいですね。これこそ夫婦って感じで。
静　いつもはこういう事しないんですけどね。
おばあちゃん　野々垣さん、この間デート行ったんだってね。
佑介　（無言で照れる）
ちひろ　奥さんから聞きましたよ。
佑介　（ゆっくり静を見て、また照れる）
おばあちゃん　何だい。この人全然しゃべらないんだね。
静　いつもこうなんです。
おばあちゃん　面白いねぇ。

知蔵、下手より入る。

知蔵　梨紗子、梨紗子。

静　知蔵さん、帰ってきたみたいですよ。
知蔵　彰人君はまだか？
梨紗子　もう起きてるんじゃないですか？
知蔵　そうか、そうか。ん？こりゃ、高橋のばあさん。グッドモーニング。
おばあちゃん　じじいに、ばばあなんて言われたくないね。
知蔵　まぁ、そう怒らずに。怒るとしわが増えるぞ。なぁ、静さん。
静　何で私にふるんですか？
知蔵　彰人君は寝とると言ったなぁ

知蔵、上手へはける。
静、怒りの言葉を飲み込む。

梨紗子　ごめんなさいね。おじいちゃんが失礼なことを。
ちひろ　知蔵さん、彰人さんのこと大好きですね。
おばあちゃん　何で、あんなとろいのがいいのかねぇ。
梨紗子　とろいって言えばとろいですねぇ。
静　でも、大竹さんと知蔵さんってやっぱり親子って感じしますよ。
梨紗子　え、そう？やだなぁ。

知蔵、彰人、上手から入る

彰人　待ってくださいよ。
知蔵　若いのにとろいなぁ。
彰人　まだ、靴がはけてない。
ちひろ　おはようございます。
静　おはようございます。
彰人　高橋さん、野々垣さん、おはようございます。
佑介　（頭を下げる）
静　これからエステへ行くんですって。
おばあちゃん　今度は私も連れてっておくれよ。
知蔵　おう。そうだ。今日はどこにも行かんのか？
梨紗子　えぇ、亜衣がテニス部ですから。
知蔵　そうかぁ、亜衣が部活かぁ。見に行こう。
彰人　え？（まだ靴が履けてない）
おばあちゃん　このエロじじいは変な事考えとる。
知蔵　亜衣ちゃんの足はきれいじゃからのう。

梨紗子　だめですよ。今日は大事なテニスの試合なんですから。
知蔵　応援ならいいだろう。あの白いスコートがたまらんのだ。

知蔵「生足―」とか言いながら、下手へはける。

彰人　ちょっと待って、まだ靴がー。

彰人、下手へはける。靴残る。

梨紗子　おじいちゃん、あなた。
静　行っちゃいましたね。
おばあちゃん　休日は、いつもどっかに行くのかい？
梨紗子　え？何でですか？
おばあちゃん　知蔵さんがどっか行かんのかって言ってただろ。
梨紗子　あぁ、仕事が休みの日は、皆で出かける事になってるんで。
おばあちゃん　いいねぇ、野々垣さんのデートといい、大竹さんのおでかけといい。
ちひろ　ねぇ、ちひろさん？
静　行きましょう。（ボソッと）
ちひろ　え？
俊雄　出かけるんです。あなたー、あなたー。たけや琴美を起こして。
ちひろ　何で？（声のみ）
史織　出かけるのよ。
俊雄　え？お出かけ？（声のみ）
ちひろ　どこに？
ちひろ　どこでもいいわよ。

たけ、琴美、くにの寝起きの反応（声のみ）

三・五

家族が下手へ移動すると、動物園。ライオン、猿、象、アシカがいる。動物園が終わると、家族は上手へ移動すると、映画館。「ちょっとすみません」とか言いながら席にすわる。スクリーンでは、「七年目の浮気」が流れており、モンローのスカートがめくれている。映画館の後は遊園地のジェットコースター。家族はいったん下手にはけ、戻ってくる。ジェットコースターを下りると、花火が上がる。

史織　あ、花火だ。
くに　きれー。
おばあちゃん　私はいつもきれいだよ。
琴美　おばあちゃんの事じゃないよ。
たけ　でも、でっけー。
俊雄　記念に写真撮ろっか。
ちひろ　きれいだしね。
史織　うん。
俊雄　寄って、寄って。

俊雄、カメラのタイマーを押す。

俊雄　はい、チーズ。

ストップモーション。おばあちゃんは一歩前へ出る。

おばあちゃん　あー疲れたねー。老人連れまわして。こんなんだったら、来るんじゃなかったよ。
全員　おばあちゃん！

四　〔エアロビ〕

（リビングで史織とタケがゲームをしている。）

史織　ああ、そこそこ。もうちょっと右。ほら、当たってないじゃん。かすりもしてない。
たけ　打てないんだよ。
史織　へたくそ。
たけ　あー。もう、うるさいな。
史織　ちょっと貸してよ。
たけ　嫌だよ。僕がやってるんだから。
史織　いいじゃん、貸してよ。
たけ　ダメったらダメ。

コントローラーを二人で奪い合う。

史織　あーあ、負けちゃった。
たけ　史織が邪魔するからいけないんだぞ。
史織　たけ兄ちゃんが弱いからでしょ。
たけ　史織が横から手出さなきゃ勝ってたんだ。
史織　何言ってるの？私に代わってたら勝ってたのに。
たけ　なら、どっちが強いか勝負しようぜ。
史織　いいよ。私が絶対勝つもんね。
たけ　言ったなぁ。じゃあ、何か賭けようぜ。
史織　えぇー。
たけ　なんだ、自信ないのか？
史織　そんなことないもん。いいよ。たけ兄ちゃん何賭けるの？
たけ　白タイツ。
史織　いらない。
たけ　えっ！じゃあ…編みタイツ。
史織　それもいらない。もうちょっとましな物ないの？
たけ　文句が多いな。だったら、負けた方が勝った方の言うことを何でも聞くってのはどう？
史織　いいよ。
たけ　絶対だぞ。逃げるのなしだからな。
史織　わかった。早くはじめよう。
たけ　じゃあ、俺ウルトラ…
史織　私、ウルトラマン。
たけ　なら、俺はバルタン星人。
史織・たけ　レディーゴー。

ゲームをする。

たけ　勝った。
史織　負けた。ね、もう一回やろ。三回勝負。
たけ　往生際が悪いぞ。
史織　でも…
たけ　さーて、何してもらおっかな。
史織　変なのやめてよ。
たけ　よし。史織、こっち来て。手を出して、こうやって。

史織、両手の人差し指を立てる。

史織　何するの？
たけ　いいから。いいから。ほら、目閉じて。
たけが史織の手を自分の鼻に入れる。
史織　いやー、汚い。
たけを史織が追いかける。
史織　変なのやめてって言ったのに。
たけ　負けた史織が悪いんだよ。
喧嘩が始まる。そこへ、母が来る。
ちひろ　うるさい。何騒いでるの。
史織　たけ兄ちゃんが私の指で鼻ほじった。
ちひろ　たけ、何やってるのよ。
たけ　だって、ゲームで史織が負けたから。
ちひろ　もうちょっとマシな罰ゲーム考えられないの？史織、手洗ってらっしゃい。
史織　はーい。
ちひろ　だいたいね、たけ。あなたはお兄ちゃんなのよ。
たけ　だって俺もお兄ちゃんにされたことあるし。
ちひろ　お兄ちゃんってくに？
たけ　うん。
ちひろ　・・・だからって史織にして良い訳じゃないでしょ
ちひろがたけに説教している。そこへ、琴美が帰宅する。
琴美　ただいま。
亜衣　おじゃまします。
ちひろ　お帰りなさい。あら、大竹さんとこの亜衣ちゃん。いらっしゃい。
琴美　あれ？また、たけはお母さんに怒られてるの？懲りないね。
史織　お帰りなさーい。あ！亜衣ちゃん、こんにちは。
亜衣　こんにちは。
たけ　ところで、亜衣ちゃん、今日は何しに来たの？
史織　あーわかった。宿題写さしてもらうんでしょ。

ちひろ　琴美、それくらい自分でやりなさい。
琴美　違うわよ。
亜衣　ＣＤを借りに来たんです。
たけ　それくらい学校で渡せばいいのに。
史織　ホント、お姉ちゃんってめんどくさがり屋だね。
ちひろ　ごめんなさいね。こんな娘で…。
亜衣　いえ…そんな。
琴美　もうっ！亜衣の前でこんな話しないでよ。恥ずかしい。さっ、亜衣。チビたちはほっといて私の部屋行こう。
亜衣　う、うん。
たけ　チビって言うな！
琴美　はいはい。お！このポテチいただき。
史織　あー。それ私の！
亜衣　ちょっと待ってよ、琴美。
琴美　お母さん、あとでジュース持ってきて。

琴美、亜衣が部屋へと去っていく。

ちひろ　はいはい。
史織　ねぇ、お母さん。結局、お父さん会社行ったの？
ちひろ　行ったわよ。
たけ　あの下痢で？
ちひろ　ええ、そうよ。
たけ　朝、トイレ臭かったよね。
史織　あの臭いは凄かったね。

おばあちゃん入る。

たけ　僕、父さんの事嫌いになるかと思ったよ。
ちひろ　私、離婚しようかと思ったわ。
おばあちゃん　やっぱりちひろさん、離婚するのかい？
史織　おばあちゃん、いつの間にいたの。
ちひろ　お母さん、やっぱりってどうゆうことですか？
おばあちゃん　しらばっくれなくたていいのよ。
ちひろさんも知っちゃったんだろう？あけみちゃんの事…
史織　あけみちゃんって誰？

おばあちゃん　俊雄の愛人だよ。
ちひろ　あの人、浮気してたんですか？
おばあちゃん　おや？知らなかったのかい？お昼間によく電話かかって来るじゃじゃないかい。

電話が鳴る。

おばあちゃん　はい、もしもし？高橋です。え？高橋俊雄？うちにはそんな人いません。…女だったよ。
たけ　あけみさんだー。

くに、帰宅する。

くに　ただいま。
おばあちゃん　俊雄じゃないかい？
ちひろ　あなた！私がいながら浮気するってどうゆうことよ！
くに　え？浮気？
ちひろ　そうよ。（ネギでくにを叩く。）
くに　痛い、痛い。
ちひろ　もう離婚よ。
くに　ええ？離婚？
たけ　ちょっとお母さん！
ちひろ　放しなさい。
史織　それ、お父さんじゃないよ。
ちひろ　え？あら、くに。帰ってたの。
くに　お母さん、どうしちゃったんだよ？
たけ　人生の岐路に立ってるんだ。
くに　でもネギ持って笑ってるよ？
おばあちゃん　無我の境地ってやつね。
くに　で、結局何があったの？
史織　お父さんが浮気してたの。
くに　ええ？
おばあちゃん　さっきあけみさんから電話があったんだ。
くに　あけみって誰？
たけ　愛人だよ。愛人。
ちひろ　それ以上もう何も言わないで。

くに　冗談だろ？
おばあちゃん　うそに決まってるじゃないか。
全員　えっ？
ちひろ　嘘だったんですか？
たけ　僕、信じちゃったよ。
ちひろ　もう、悪ふざけはよして下さい。
史織　あ！お母さん、亜衣ちゃんにジュース持ってかなくちゃ！
ちひろ　そうだったわ。すっかり忘れてた。

ちひろ、はける。

たけ　チャンスだよ。お兄ちゃん。
くに　え？何が？
史織　亜衣ちゃんだよ。亜衣ちゃん。好きなんでしょ？
くに　いや・・・別にそういうわけじゃ・・・確かにかわいいとは思うよ。たまにドキッてしたりするけどそれは好きとかじゃなくて、ほら大体、亜衣ちゃんは琴美の友達だし。
おばあちゃん　言い訳するんじゃないよ。
史織　机の奥にラブレター隠してあるの知ってんだよ。
くに　しっ。(史織の口を手でふさぐ)聞こえちゃうだろ？
たけ　あれ、やっぱり亜衣ちゃんへのラブレターだったんだ。
くに　大体、なんでお前達、あの手紙のことしってんだよ。
史織　ハサミ借りようと思って机の中あさってたら出てきた。
たけ　まさか読んでないよな。
くに　うわぁ。
おばあちゃん　あぁぁぁ。
くに　史織　なんで覚えてるんだよ。
おばあちゃん　そりゃ何度も読んだからねぇ。
くに　やっぱり読んだの？
史織　うん。
くに　何度も？
たけ　うん。
くに　そんなぁ

琴美、亜衣入る。

亜衣　じゃあ、これ借りてくね。ありがとう。
琴美　何してるの？
くに　いや、何も。
おばあちゃん　今しかないよ。
史織　チャンス！チャンス！
たけ　行け！愛の告白！
亜衣　え？呼んだ？
くに　ううん、呼んでないよ。決して呼んでない。
亜衣　そう。じゃぁ、私帰るね。
くに　また遊びに来てね。
琴美　ばいばーい。
亜衣　おじゃましました。

亜衣、琴美はける。

くに以外　あーあ。
くに　ほら、これからだってチャンスあるし・・・。
たけ　見損なった。
史織　いくじなし。
おばあちゃん　男じゃないね。
くに　亜衣ちゃーん。

くに、はける、琴美、入る。

琴美　お兄ちゃん、どこ行ったの？
史織　愛を伝えに行ったの。
琴美　やめときゃいいのに。
史織　あぁ！私、ハーモニカの練習しなきゃ。お母さん、ハーモニカどこぉ？

史織、はける。

おばあちゃん　ハーモニカ？
たけ　なんか学芸会で発表するんだって。

おばあちゃん　学芸会・・・思い出すねぇ。
琴美　何？何？何かあったの？
おばあちゃん　としおがまだ小学校の頃にね。

史織、ハーモニカを吹きながら入る。

おばあちゃん　そぅ、この曲だよ。この曲がどうしても歌えなくてね。
琴美　そんなに難しい、これ？
おばあちゃん　なにせ踊りもあったからねぇ。
たけ　見たいなぁ。
おばあちゃん　見りゃいいじゃないか。
琴美　どうやって？
おばあちゃん　お前らが踊るんだよ。
たけ・琴美　えっ？

四・五

おばあちゃんが自分の部屋にいる。

ちひろ　失礼します。
おばあちゃん　おや、ちひろさんかね。どうかしたかい？
ちひろ　ちょっとお話よろしいですか。
おばあちゃん　なんだいかしこまって。気持ち悪いねぇ。
ちひろ　あの・・・今日みたいなことは、やめていただけませんか。
おばあちゃん　今日みたいなことって？
ちひろ　子供達の前で俊雄さんが浮気してるだとか愛人だとか。
おばあちゃん　私、そんなこと言ったかねぇ。
ちひろ　言いました。
おばあちゃん　最近、物忘れが激しくて・・・ボケてきたのかもしれん。
ちひろ　都合の悪いことばっかり忘れるんですね。
おばあちゃん　なんか言ったかい？
ちひろ　耳まで悪くなったんですか。
おばあちゃん　いや、それはない。
ちひろ　ちゃんと聞こえてるじゃないですか。
おばあちゃん　ちょっとした冗談じゃないかい。
ちひろ　まじめに聞いてください。

おばあちゃん　はいはい。
ちひろ　あと、子供達に変な踊り教えるのやめてください。
おばあちゃん　あのダンスのどこが変なんだい。
ちひろ　全てです。
おばあちゃん　大体、あれはどうしても教えて欲しいって言うから・・・。
ちひろ　言われても、教えないで下さい。あんな大声で歌いながら踊ったらご近所の迷惑になるんです。
おばあちゃん　何言ってんだい、あれくらいで。
ちひろ　とにかく、変なことしないで下さいね。文句言われるのは私なんですから。

五

知蔵が上手山台に立っている。史織、友博、入る。

史織　6年2組高橋史織です。
友博　6年2組谷友博です。
史織　せーの！

ハーモニカを吹く。

知蔵　へたくそじゃなあ。
史織　あ！知蔵さん、いつから覗いてたの？
知蔵　覗いてなんかないわい。
友博　えっち。
知蔵　とにかく、その酷い演奏をどうにかせい。
史織　ハーモニカって難しいんだよ。
知蔵　たかがモナカ、されどモナカじゃな。
友博　ハーモニカだよ。ハーモニカ。
知蔵　そうかそうか、ハーマイオニーか！
史織　ハーモニカだってば。

静、入る。

静　あ、いたいた。史織ちゃん！
友博・史織　こんにちは。

知蔵　そんなに慌ててどうしたんだい？
静　ちひろさんを探してるんです。
史織　お母さん？
静　どこにいるか知らない？
史織　わかんない。
静　知蔵さんは？
知蔵　静さんがわしとデートしてくれたら思い出すかも。
静　無理です。

くに入る。

くに　あれ？史織。こんなところで何してるの？
史織　お兄ちゃん。お母さん見かけなかった？
くに　何で？
静　回覧板が消えたのよ。
くに　え？
静　消えちゃったのよ、回覧板が。
知蔵　ミステリーじゃ。
友博　消えた回覧板殺人事件？
史織　犯人は…
くに　高橋ちひろ。
知蔵　わし、ちひろさんになら殺されてもいい。
静　知蔵さん？
史織　ねえねえ、友君。

内緒話をして、うなずく。

史織　私たち、お母さん探してくるよ。
知蔵　わしも探すぞ！
静　探してくれるんですか？
史織　なんたって事件なんだから。
静　ありがとう。
くに　じゃあ、僕も…
史織　お兄ちゃんはダメ。
くに　なんで？
友博　任務が残ってる。

くに　任務？
史織　捜査本部で被害者のメンタルケア。
くに　捜査本部？
知蔵　ここじゃよ。
くに　で、被害者は…？

史織・友博、静を指さす。

静　え？私？
史織　そう！じゃいこう。

上下分かれて去る。後を知蔵が追う。

静　あっ、ちょっと・・・
くに　大変なことになっちゃいましたね。
静　でも、本当どこ行っちゃんたのかしら？
くに君、見かけたりしなかった？
くに　見てません。
静　そう。
くに　そんなに大事な連絡だったんですか？今日の回覧板。
静　ほら、毎年夏になると町内旅行があるじゃない。
くに　ああ…、あのいまいち盛り上がりも盛り下がりもしないあれですか。
静　あれの出欠確認の連絡らしいのよ。
なにも書いてないと出席にしちゃうでしょ。
くに　それは困りますよね。僕もあれには行きたくないですから。
静　(溜息)
くに　大丈夫ですよ！きっと見つかりますって。(静の手を掴んで)

おばあちゃん　入る　オン　キックボード

おばあちゃん　見ちゃった。
静　えっ？
おばあちゃん　浮気！

ぱっと　手を離して。

くに　おばあちゃん…、キックボード乗ってどこ行ってたの？
おばあちゃん　秘密。浮気ほどじゃないけど秘密。
静　浮気じゃないんです。
おばあちゃん　はい。（手を出す）
静　何ですか。
おばあちゃん　口止め料。
静　何でそんなの払わなきゃいけないんですか！！
おばあちゃん　亜衣ちゃんに言ってもいいんだね。
くに　（千円札を差し出す）
静　何やってるの？
くに　だって亜衣ちゃんに勘違いされたら困るから。
おばあちゃん　堅いこと言ってちゃ世の中渡っていけないよ。
くに　で、本当は二人で何してたんだい。
おばあちゃん　回覧板が無くなっちゃったんだよ。おばあちゃん、知らない？
さぁ、知らないねぇ？

友博、史織入る。

史織　途中報告。（内緒話、頷く、去る）
おばあちゃん　で、あの子達は何なんだい？
静　ちひろさんを捜してもらっているんです。
おばあちゃん　消えた回覧板とちひろさん…、面白そうだね。
よっし、私に任せときな！

友蔵、入る。

友蔵　途中報告、異常なし。（去る）

史織、友博入る。

史織　いなかった。友君は？

友博、首を振る。

知蔵　こっちもおらんぞ。
くに　もうそろそろ六時だよ。

静　友君、ランドセル背負ったままで、帰らないで大丈夫なの？
おばあちゃん　お母さんが心配してるんじゃないかい？
友博　僕、帰る。

友博、去る。

史織　バイバ～イ。

友博、戻ってくる。

友博　ばいばい。

友博、去る。

友蔵　もう日が暮れちゃうのお。
静　どこ行っちゃったんでしょう。ちひろさんも、回覧板も・・・。

ちひろ入る。適当に相槌をうったりしているが、ちひろの気配を感じて、おばあちゃんがこそこそ逃げて行く。

ちひろ　あ～、くに・史織、いいところにいた。これ持って！
くに　荷物！隣町のスーパー激安セールやっててさ。
ちひろ　も～、お母さんどこ行ってたんだよ？
だから隣町の激安スーパー。
静　お父さんの稼ぎが少ないから遠出しなきゃいけないの。
知蔵　でもよかった、見つかって。
ちひろ　もう二度とちひろさんのケツが見えないと思うと、寂しくて寂しくて。
何言ってるんですか。

梨紗子入る。

梨紗子　ちひろさん、見つかったんですって？
くに　そんなに怒ってどうしたんですか？
知蔵　いつもに増して不細工になっとる。
梨紗子　回覧板が回ってこなかったのよ。しかも、これ。（回覧板を手渡す）

くに　あ！消えた回覧板。
知蔵　なんで梨紗子が持っとるんだ？
梨紗子　町内会長さんに渡されたのよ。
ちひろ　町内旅行の出欠表？
くに　…全部チェックしてある。
静　なんで？
梨紗子　こっちが聞きたいわよ。町内会長さんはその回覧板、高橋さん家が届けに来たって言ってたわよ。
静　どうしてくれるんですか！
知蔵　風呂は混浴かのう？
ちひろ　知りませんよ。
梨紗子　知りませんじゃないでしょう！
ちひろ　本当に私じゃないんです。

口論が始まる。

史織　あー。
ちひろ　なによ。
史織　それ、おばあちゃんだ。私、色塗りしてんの見たもん。
静　それ、本当なの？
史織　うん。
ちひろ　あのばばあ…。

五・五

ちひろ　ちょっと、お母さん。
おばあちゃん　騒々しいね。
ちひろ　なんで勝手に回覧板まわしたんですか？
おばあちゃん　回覧させるためだよ
ちひろ　勝手にしないで下さい。まわりの迷惑かえりみて下さい。
だいたい、いつも、いつも、いつも、いつも、
勝手に何かして、人に迷惑かけて。
おばあちゃん　おや？迷惑かけていたのかい？
ちひろ　とぼけないで下さい。
おばあちゃん　かけてないと思うがねぇ。
ちひろ　かけてます！かけまくりです！山盛りです！

おばあちゃん　なんだい、いいじゃないか。温泉に行けて。
ちひろ　よくないです。
だいたい、このあいだも変なことしないで下さいって言いましたよね
おばあちゃん　言ったかね？
ちひろ　言いました。
おばあちゃん　言ってないよ。
ちひろ　もう、いい加減にして下さい。

六

居間。くつろぐ国。はしって入ってくる琴美。

琴美　おにいちゃん！
くに　んっ何？
琴美　私のポテチ食べたでしょ
くに　食べてないよ。
琴美　嘘。
くに　ほっ、本当・・・かも。
琴美　食べたんじゃない！
くに　仕方なかったんです。お腹と背中がくっつきそうで・・・。
琴美　別にいいけど。
くに　えっ？

琴美手を出す。

琴美　お金！
くに　いやぁ。
琴美　何よ？
くに　お金ない。
琴美　はぁ？
くに　でっ、でも、あれしけってたし。
琴美　関係ない！あれは、私の！
くに　あっ、一円あった！
琴美　ふざけないでよ。大体何回人のポテチ取ったと思ってるの！
くに　失礼な、まだ三回目だよ！
琴美　十分よ！

くに　琴美こそ人の食べたじゃないか！
琴美　私はまだ二回。
くに　変わらないじゃないか！

騒ぐ二人。俊雄入ってくる。

俊雄　何だ！騒々しいな。
くに　琴美が人のポテチ食べたんだ！
琴美　お兄ちゃんでしょ！
俊雄　なんだ、ポテチぐらい。
二人　ぐらい？
俊雄　ぐらいじゃないか、また買えばいいんだろ？
琴美　買えないの。
俊雄　何で？
くに　お小遣い少ないもん。
俊雄　二千円ぐらい上げてるだろう。
琴美　四人で二千円よ！
俊雄　あっ。
くに　あぁあっ、お父さんの給料がもう少し多ければね。
琴美　そうそう、一ヶ月五百円じゃあＣＤもまともに買えないし。
くに　おやつだって早々買えないよ。
琴美　お兄ちゃん仕方ないよ。だってお父さんペーペーなんだもん。
くに　そうだね。もう四十過ぎなのに。
俊雄　なんだよ、それ。俺だって頑張ってんだぞ？
琴美　えー。

おばあちゃんは入る。

おばあちゃん　お前は人一倍頑張らないとダメだよ。
俊雄　母さん。
くに　おばあちゃん。
琴美　どういうことよ？
おばあちゃん　昔から物覚えが悪くってねえ。
俊雄　母さん。
おばあちゃん　ほらこの前、琴美たちに教えたあれ、えーっと。
琴美　「靴が鳴る」？

おばあちゃん　そうそれ。あれだって覚えるのに一週間もかかったんだ。
琴美　えーっ。
くに　何、それ。
琴美　ダンス、おばあちゃんに教わったの。
くに　へぇ、一回みたいな。
琴美　いいけど。

たけ史織、歌いながら入る。

おばあちゃん　おや、丁度いいところに来たね。
史織　どうして？？
おばあちゃん　これから国と、俊雄に見せようと思って。ほらほら。
たけ　はーい。

おばあちゃんの合図で踊る

くに　おー。
おばあちゃん　うん、まあまあね。そうだ俊雄、あんたもやってみな。
俊雄　俺っ？
おばあちゃん　ほかに俊雄なんていやしないよ
史織　私みたいな。

国が拍手、つられてみんな拍手

俊雄　仕方ないな

俊雄踊る。おばあちゃんが途中で切る。

おばあちゃん　ダメダメ。全然なってないよ。
ほら見てやるからもう一回。

俊雄踊る。おばあちゃんが途中で切る。

おばあちゃん　何やってんだい。本当に物覚えの悪い子だね。
学芸会で必死に覚えてちょっとしたら、忘れるのかい？
この子達なんかすぐ覚えたよ。

俊雄　母さん。
おばあちゃん　ん？何だい？
俊雄　一体、何がしたいんだよ。
おばあちゃん　別に。昔話をしちゃいけないのかい？
俊雄　そんなことじゃないだろう、俺が言ってるのは。
おばあちゃん　大声出さないでおくれ。
俊雄　突然やってきて、俺の生活乱して！何が楽しいんだよ！
おばあちゃん　楽しくなんてないさ。
俊雄　楽しんでるだろ！
おばあちゃん　それに突然昔の踊りを持ち出してきたり、意味わかんないよ。
俊雄　私のすることがそんなに気に入らないのかい。
おばあちゃん　みんなに迷惑かけてるじゃないか。
俊雄　くにの眼鏡を黒く塗ったり…
おばあちゃん　あれは、くにがまぶしそうだったから。
俊雄　たけの網タイツだって破っただろう。
俊雄　破ったんじゃなくて、破れ…
俊雄　言い訳はもういいよ。親父が入院してきたのは、わかるよ。
おばあちゃん　でも、もう少し考えてくれよ。
俊雄　ふん、お前にそんなこと言われるとは思わなかったよ。

おばあちゃんはける

史織　あっ、おばあちゃん。
琴美　ちょっとー。
俊雄　もう、何なんだ。

七

琴美、上手で宿題をしている。たけ、既に寝てる。
ちひろ、下手の座卓を掃除している。
そこへおばあちゃんが入ってくる。

おばあちゃん　お風呂上がったよ。
ちひろ　たけー。お風呂入りなさい。
おばあちゃん　ちひろさん、お風呂場のせっけんがもうなかっから新しいの出してくれるかい？

ちひろ　脱衣所の戸棚に入ってます。
おばあちゃん　ああ、そうかい。じゃあ、琴美。
琴美　自分でやれば？
おばあちゃん　そうだね。みんな、忙しそうだしね。
琴美　ついでにシャンプーも詰め替えといて。
おばあちゃん　やっとくよ。
ちひろ　たけ、聞いてるの？。
琴美　寝ちゃってるんじゃない？
ちひろ　ちょっと琴美、たけ起こしてきて。
琴美　私、宿題。
ちひろ　つべこべ言わずに、行ってこい。
おばあちゃん　いい、いい。私が行くよ。

くに、入る。
おばあちゃん上手山台に上る。

おばあちゃん　寝ちゃってるね…。たけ、たけ。
たけ　やっぱり眉毛がいけなかったんだ。（寝言）
おばあちゃん　しょうがないね。こら！
たけ　へ？何？世界の中心？？？
おばあちゃん　目は覚めたかい？
たけ　なんだ、おばあちゃんか…？
おばあちゃん　ちひろさんがお風呂入りなさいとさ。
たけ　うん。

おばあちゃん、山台からおりる。
たけ、また寝る。

おばあちゃん　ありゃ、ダメだ。起きないよ。
くに　なんだ、たけもう寝たの。
琴美　そうみたい。

史織入る。

史織　お風呂誰も入ってない？
おばあちゃん　ああ。

史織　じゃあ、私入る。

史織去る。

おばあちゃん　そろそろ寝ようかね。

おばあちゃん二階へ上がってゆく。

ちひろ　さて、私は洗い物の残りをしようかな。

ちひろ、去ろうとする

史織、悲鳴をあげながら入ってくる。

史織　きゃあああああ。

琴実　どうしたの？

史織　見ちゃった。

くに　何を？

ちひろ　まさか、ゴキブリ？

琴美　うそ、ゴキちゃん？

史織　もっと大きい。

琴美　大きいゴキ。

くに　僕、失神しそう…。

史織　そうじゃなくて…。

俊雄、入る。

俊雄　あーさっぱりした！ん？どうした？

史織　私お嫁に行けない。

ちひろ　もう、また鍵閉めてなかったわけ？何回言えばわかるのよ。

琴実　信じらんない。

くに　最低。

ちひろ　ゴキブリ以下。

電話が鳴る

ちひろ　こんな時間に誰かしら…。

はい、もしもし…あら、のりこさん、お久しぶりです…お父さん、様態が悪化…えっ、亡くなられた…あっ、はい。分かりました…はい…明日にでも。

俊雄　亡くなったって…？

くに　うそ…

史織　おじいちゃん、死んじゃったの？

ちひろ　そう…みたいね。

琴美　かわいそう。

ちひろ　お通夜は？

くに　今日はもう遅いから、明日お通夜ですって。だから、明日の朝、おばあちゃんを静岡まで送ってきてくれって…

ちひろ　葬式の用意とかは…？

俊雄　もう始めてるって。

ちひろ　とりあえず母さんに話を…

くに　ちょっと待って…、私が…行くわ。

ちひろ　くに、ちょっと、たけ起こしてきて。

くに　うん。

ちひろ、おばあちゃんの部屋へ

ちひろ　お母さん、まだ起きてます？

おばあちゃん　ああ、起きてるよ。

ちひろ　失礼します。あの…落ち着いて聞いてほしいんですけど、実は…その。

おばあちゃん　何だい？いつもの迫力がないわね。

ちひろ　お母さん、真剣に聞いて下さい。

おばあちゃん　おじいちゃんが、お亡くなりになったそうです。

ちひろ　ああ…そうかい。死んだかい。

おばあちゃん　あ…ちょっとお母さん、どこ行くんですか！

俊雄　お通夜の準備をしなきゃならんだろ？俊雄。今すぐ、送ってておくれ。

おばあちゃん　今日は遅いから明日の朝一で静岡に送っていくよ。

俊雄　そうか。ちひろさん。喪服はどこへしまったかな。

ちひろ　あ、あと数珠だよ数珠。

おばあちゃん　そういえば二階にあったなあ。

俊雄　数珠も喪服もありますから。

ちひろ　たけ、喪服もってきておくれ。

俊雄　母さん落ち着いて。
おばあちゃん　落ちついとるわ。
ちひろ　たけ、喪服持ってきてちょうだい。
おばあちゃん　琴実、史織、あんたたちもぼけっとしてないで着替えなさい。あーあと葬儀屋に連絡…
俊雄　それはのりこさんがしてくれてるって
おばあちゃん　ああ、そうだった。のりこさんが…のりこさんって誰だい？
くに　おじさんの奥さんだよ。
おばあちゃん　あんた、どこの子だい？なんでうちにいるんだい？
俊雄　くにじゃないか。
琴実　おばあちゃん？
たけ　おばあちゃん、喪服持ってきたよ。
おばあちゃん　あんたなんで私の服持ってるんだい？ちひろさん、泥棒だよ。泥棒。
史織　たけ兄ちゃんのことわからないの？
おばあちゃん　なにいってるんだい。さあ、静岡に連れっておくれ。
俊雄　だから明日朝、送ってくって。
史織　おばあちゃん私たちのことわからないの？
ちひろ　あんたたち、台所のほうへいきなさい。
史織　でも…
俊雄　いきなさい！
おばあちゃん　ちひろさん、喪服はこれでいいかね？
ちひろ　すてきですよ。
おばあちゃん　やっぱりいまいちだね。これとれと…俊雄、おまえはじいさんに会いにそんなのでいくのかい。
俊雄　母さん、しっかりしてくれよ。
ちひろ　おかあさん、もうやめてください。
おばあちゃん　邪魔しないでおくれ。
ちひろ　あなた。
俊雄　母さん！
おばあちゃん　だれだいあんたは！ちひろさん、この男は誰だい？はなしとくれ。
おばあちゃん　おててーつないでーのみちをゆけばー
史織　おばあちゃん！
たけ　しっかりして…

口々におばあちゃんをよぶが、おばあちゃんは歌い続ける

八

ちひろ　早く起きなさい。寝坊、遅刻よ。
俊雄・たけ・琴美・くに　うわぁぁー。
史織
琴美　ハーモニカがない。
史織　そんなの知らないわよ。それより、私のビューラー。
琴美　お姉ちゃんのビューラーなんか生ごみに出しちゃったよ。
ちひろ　バカな事言うんじゃないの。お母さん、ビューラー。
琴美　やかましい。それくらいおばあちゃんに聞いてちょうだい。
ちひろ　だって起きてないもん。
琴美　起こしなさい。
史織　嫌よ、何されるかわかんないし。
ちひろ　静岡まで行くの？
史織　ビューラーはトイレ。ハーモニカはキッチン。
また？勝手に使わないでって…言ってません。

二階

たけ　お兄ちゃん、よだれついてるって。
くに　ん？あっ、亜衣ちゃん。（キスせまる）
たけ　嫌、待って、初めてなのに。
たけ　起きろ！
くに　うわっ、亜衣ちゃんがたけになった。
たけ　いいから、下、行くよ
くに　あっ、うん。
琴美　早く用意しろ、遅刻。
たけ・くに　は、はい、お母さん。
琴美・史織　バーカ。
たけ　おばあちゃんみたいな事しないでよね。
くに　バカ、たけ、そんな事言ったら。
たけ　しまった。
史織　くに、たけ兄ちゃん。
くに・たけ　何？
史織　おばあちゃんは静岡。
くに・たけ　あっ。

琴美　バカすぎ。
ちひろ　人の事言えないでしょ、ほら、さっさと用意。
子供　はい。
俊雄　おはよう。
全員　遅い。
史織　遅刻よ、遅刻。
俊雄　えっ？誰かおばあちゃん起こしてこい。
ちひろ　あなたまで何を言ってるんですか。
史織　おばあちゃんは静岡帰ったよ。
俊雄　あ、そうだった。

ピンポーン

ちひろ　はーい。
くに　誰だろう。
琴美　誰だっていいわよ。
史織　何か来たんだ。
たけ　えっ、なんだろう。
俊雄　何？
ちひろ　おばあちゃんからみたい。
たけ　えっ？何、何。
史織　早く空けて。
俊雄　あんどん？

ピンポーン

ちひろ　はーい。
たけ　また来たよ。
俊雄　こ…これは…
ちひろ　おばあちゃんのブラジャー。

ピンポーン

ちひろ　今度は何？
おばあちゃん　おはよう。
俊雄　母さん。

おばあちゃん　やっぱり、ここがいいね。その荷物は二階、それは…。
俊雄　母さんどうしたの？
おばあちゃん　いやぁ、あんたたちが心配でね。私がいないと何もできないんだから。
お前たちといっしょに住むことにしたんだよ。
子供　えっー。
俊雄　ちょっと。
おばあちゃん　なんだい。
俊雄　いや、あの…。
ちひろ　あなたどうするの？
子供　お父さん、どうするの？

俊雄、だまる。

史織　いっしょに住むの？
ちひろ　住むのよね？
俊雄　どんとこい・

おばあちゃん@いろいろ言う。